

●総合型選抜(制限時間 30 分) ————— 《傾向と対策例》

I. 大問構成 (すべて選択式解答)

大問 (設問数)	ジャンル	設問内容・傾向	対策例
第一問 (5題)	漢字 四字熟語	社会生活で使用頻度の高い実用的な漢字の読み書きを出題する。難語やほとんど目にしない漢字は出題せず、常識的な範囲の常用漢字に限る。 →別掲資料【問題例1】	普段から新聞やネットニュースなどを読み、読書に親しみ、知らない漢字、読めない漢字、意味のわからない漢字を調べる習慣をつける。
第二問 (5題)	慣用句 故事成語 国語常識	日常生活・社会生活の範囲で使用頻度の高い常識的な慣用句や故事成語の他、文学史や敬語についても常識(教科書)レベルの範囲で出題する。 →別掲資料【問題例2】	新聞や会話で頻出する慣用句や故事成語に注意し、調べる習慣をつける。不安なら高校受験レベルの薄い問題集を一冊仕上げておく。
第三問 (5題)	文章表現 言語操作能力	同意文の言い換え、同義語の知識、接続詞など、言語操作能力・文章表現力・コミュニケーション能力などを問う。 →別掲資料【問題例3】	好きな小説や好きな本を読み、使われている表現に注意を向ける。言いたいことを200字程度でまとめる練習をする。
第四問 (5題)	読解・解釈 リテラシー	書き換え(抽象文⇔具体文)や文脈把握(会話文含む)、資料読み取り、文章読解(400字程度)など、実用性の高い日本語のリテラシー(思考力・判断力・表現力の適用能力)をさまざまな角度から問う。 →別掲資料【問題例4】 →別掲資料【問題例5】	特殊な対策をする必要はないが、新聞のコラムや著名な作家・評論家のブログなどを、文章の論理構成に注意しながら読む習慣をつける。親や教師と会話するときは、自分の意見を正確に相手に伝えられる論理的な話し方を心がける。

(注) 問題はすべて4択(ア～エ)または5択(ア～オ)の記号選択です。

【問題例1】業務中の負傷や ^A 疾病が労働災害として認定されると、休業 ^B ホシヨウ給付を受けられる。

【正解】 A—しつぺい B—補償

【問題例2】コロコロと方針を転換する市長の()には、議会も役人も振り回されっぱなしである。

【正解】 朝令暮改

【問題例3】次の文を、意味を変えずに否定文に書き換えるとどうなるか。

彼の模試の成績は、この学校で一、二を争うほど優秀である。

【正解】 模試の成績で彼ほど優秀な生徒は、この学校にほんのわずかしかない。

【問題例4】次の文の傍線部をわかりやすい言葉を補って言い換えるとどうなるか。

一九三七年、ピカソは戦争の不条理を象徴した作品『ゲルニカ』を描いた。

【正解】 戦争という道理に合わない無意味なさまを形として表した

【問題例5】次の文章の趣旨に合致するものを選びなさい。

絵画や写真、工芸などのように、見ることで成立する作品はすべて視覚芸術に区分される。しかし、たとえば ^{みずみず} 瑞々しい桃の静物画を鑑賞するとき、私たちはそこに桃の柔らかさや甘さ、香りを感じ取る。桃が置かれた室内空間の静寂さを感じ取る。私たちは桃という物体を、視覚を含めた五感と結び付けて認識し、記憶している。桃の絵画を「見る」ことで他の感覚と結びついて記憶されていた桃が呼び起こされ、心象風景の中に映し出される。そこでは「見られる客体」としての桃が、五感の働きによって「見る主体」の中に取り込まれている。絵画に限らず、視覚芸術は視覚のみでは成立し得ないのである。

【正解】 エ 視覚芸術と呼ばれるものを、私たちは視覚だけではなく五感で感じ取っている。